

comply with ~

~ (規則、要件などに) 従う、適合する~

大学でキャリア関連の授業を行うと、学生の「働き方改革 (work style reform)」に対する関心の高さに改めて気づかされます。彼らはワーク・ライフ・バランス (work-life balance) を重視する世代で、“ブラック (企業)”という言葉に敏感に反応します。

これまで海外では karoshi (過労死、death because of too much work) という日本語がそのまま定着するなど、日本人の働き方の特殊性が強調されてきました。今年 4 月に施行された「働き方改革関連法」によって日本社会がどう変わるのか、外国人は興味を持っています。

Companies need to take immediate action to **comply with the new legislation.**

企業は、新しい法律を順守すべく、迅速に対処する必要があります。

comply with ~は「(規則・要件などに) 従う、適合する」という意味のフレーズ。comply は、今ではすっかり定着した感のある compliance (コンプライアンス、法令順守) の動詞形です。従う対象は法律だけでなく、rules of employment (就業規則)、company ethics (企業倫理)、social norms (社会規範) といった幅広い範囲に及びます。

Employers need to **be compliant with mandatory maximum limits to overtime hours.**

雇用者は、決められた残業時間の上限を守らなければなりません。

compliant は comply の形容詞で「順守している、基準を満たしている」。be compliant with ~の形を取ります。感覚的には「悪いことをしていない状態」でしょうか。

employer (雇用者) と employee (従業員) は対で覚えましょう。語尾の -er は「~する人」、-ee は「~される人」。ほかにも trainer (訓練する人) ⇔ trainee (訓練される人)、

I'm afraid we are unable to **comply with your request.**

残念ながら、ご要望に沿うことはできません。

interviewer (面接する人) ⇔ interviewee (面接を受ける人) などがあります。

この場合の comply with ~は、法令・規則などではなく、相手の要望 (requests)、希望 (wishes)、助言 (advice) などが対象です。つまり、「相手の要望などに沿って行動する」という意味になります。

単語・熟語チェック

□immediate 即時の

□legislation 法律

□employer 雇用者⇔employee 従業員

□mandatory 強制的な、義務の